

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定)

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|-----------------|--|--|--|--|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 複眼的多面的なもの見方、論理的対話的で深い学びを実践するためのカリキュラム・マネジメント構築。 揺るぎない基礎学力の上に立つ、高度で知的な好奇心を刺激する授業づくり。 総合的な探究の時間を中心に、根拠に基づく科学的思考力、課題解決力と表現力を養う。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒の探究的な学びにつながる授業づくり、及び生徒の学力向上を図るために組織的な授業改善を実施する。 総合的な探究の時間を中心に、生徒の論理性、科学的リテラシーを伸ばさせる指導法を組織的に探究する。 | <ol style="list-style-type: none"> 研究授業や研修会等を計画的に実施し、教員の指導力の向上を図り、その成果を職員全体で共有し、議論する取組を行う。 生徒に育ませたい力を全職員で共有し、科学的思考力、課題解決力、表現力等を養う探究活動の取組を組織的に行う。 | <ol style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートにおいて、根拠をもとに考えをまとめる力に関する項目6について、評価4「かなり当てはまる」が50%以上であったか。 公開授業及び研究協議等の授業改善の取組を年間2回以上実施できたか。 一人1台のタブレット端末を活用した授業実践に向けた研究会を年間1回以上実施できたか。 課題研究に係る教員研修会を年間1回以上実施できたか。 生徒による課題研究発表会を実施できたか。 |
| 2 | (幼児・児童・)生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 社会性、協調性、体力、自己管理能力、人権意識を養うための環境整備。 部活動の活性化。 一人ひとりの個に応じた支援を充実させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学校行事を立案・実施・検証して、実践性・自主性・協調性を養い自己肯定感を高められる場面を創出する工夫をする。 教育相談体制を充実させるとともに、生徒の社会性と協調性を高める指導を推進する。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒会執行部の活動、学校行事の運営、部活動等において、生徒が自己の役割を認識し、創造性を伸ばす取組ができるよう継続的な支援を行う。 生徒の情報を職員全体で共有し、迅速で適切な指導・支援を実践する。 SNS関連等のトラブル、登下校のマナー違反に対して適切に対応する。 | <ol style="list-style-type: none"> 学校行事の計画・実施・振り返りを通して、計画的かつ継続的な支援をすることができたか。 行事の事後アンケートにおいて、生徒の主体性と自己肯定感に係る数値が高いか。 SC・SSWと連携して会議(学年・コア・ケースなど)で具体的な支援策を立てて、実践することができたか。 トラブルや苦情に対し、再発防止に向けて行動できたか。 |
| 3 | 進路指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりのキャリア形成に則した支援体制の整備。 難関国公立大学への合格者数を増加させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 一般選抜で大学進学をする者が果敢に挑戦出来るよう、進路指導を行う。また学校推薦型選抜や総合型選抜を活用する生徒保護者共に適切に情報提供をする。 最新の大学入試情報や新たに大学入試研究会で得た情報を進路通信や進路集会に反映する。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒の進路希望や実力テストの結果を反映した資料を作成し、担任が面談や進路指導を円滑に実施できるよう支援する。 本校の推薦制度について保護者対象の説明会を実施する。 「第一志望を貫く」指導を組織的に行い、学年会でも複数回説明し周知を徹底する。 研究会の案内の職員全体への周知、進路集会や進路通信を通じた生徒への情報提供を行う。実力テストを実施し学力を把握する。 | <ol style="list-style-type: none"> 進路指導資料を作成し、全職員に提示できたか。 新着任者に対して校内の進路支援制度を周知し、職員全体で進路支援体制に基づいて支援できたか。推薦説明会を生徒保護者に複数回実施できたか。 第一志望校の受験が8割を超えたか。 多様な情報を指導に生かすことで、スーパーグローバル大学(トップ型)への現役進学率が前年を超えたか。 |

| | | | | | |
|---|--------------|---|---|--|--|
| 4 | 地域等との協働 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを軸として、地域、同窓会、保護者、大学、分教室等と連携・協働を深化させる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. HP等を通して、適宜、地域等に情報を発信する。 2. 藤沢支援学校分教室と連携して、相互の教育活動に資する取組を行う。また、PTAと連携して教育活動の推進を図る。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. HP等の広報活動を充実させる。 2. PTAや分教室と日頃から情報交換を行い、本校生徒との交流・理解が深まり、互いに良い相互作用ができるよう機会を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事および生徒会執行部を中心としたボランティア活動においてPTAと連携し、生徒の活動支援を行う。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. HPの更新等で情報を適宜発信することができたか。 2. 学校行事やボランティア活動に際して、分教室やPTAと協働して取り組むことができたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや分教室の生徒や職員と、日頃から情報交換等の交流を行うことができたか。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・全校一丸となって学校改革に臨み、安全で信頼される魅力ある学校づくりに組織的に取り組む。 ・教員の働き方改革を推進するための意識改革を図る。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 円滑で効率的な学校運営を推進するとともに、安全安心な教育環境の整備及び事故、不祥事防止に取り組む。 2. 生徒・職員が災害に対する意識の高い学校づくりを行う。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ICTの利活用を推進し、情報の共有化及び校務の効率化を図る。また、報告・連絡・相談を適切に行うとともに、職員一丸となって前向きに課題に取り組む雰囲気を醸成する。 2. 実践的な避難訓練、防災訓練、DIG訓練等を実施し全職員・生徒の防災意識を高める指導に取り組む。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議の運営等でICTを利用した校務の効率化を行うことができたか。職員がチームとして学校目標の達成に取り組むことができたか。 2. 生徒・職員が具体的な災害等に対する意識を高める訓練等を実施できたか。 |